句評会　川柳マガジン東京句会 10 月 14 日

銃声の間に挟むコマーシャル　耕平
一番話題になった作品
戦争のニュースにもコマーシャルが入るという仕組み
何年の前からこういう画面を良く見る。画面のこちら側で見ていると切実感が無い。災害等でも同じ。商業主義というかそういうものに対する意見が多かった。

作者は、先日ミャンマーで起きた日本人カメラマンの死亡のニュースを見て感じたことを詠まれた。一発の銃声、そしてその後すぐに入るコマーシャル。いわば視聴者を引っ張っているわけで、このことのショックと、日本人が犠牲になった事で、戦争やテロというものが選り身近になった怖さを詠んだ。（この部分ビデオに撮れていませんでした）

来世への下見を兼ねてラサの旅　博重
面白い。

作者が実際に天空鉄道と呼ばれる中国のチベット鉄道を利用しての旅の思い出。

資本主義行き着く先は詐欺でんな　帆波
最近の詐欺事件を思う。下五の関西弁が商人の町大阪を思わせて面白い。

尺取虫を使ってる永六輔　三十六
永六輔がメートル法制定時に金尺を作って販売した騒動の話
古いが、懐かしいという声も。

バレリーナの爪先どんな形だろ　ゆう子
本当にどうなんだろうと思わせる作品。見たくないという人と、見てみたいという人に分かれた。

続けますハイオク満タン海の上　くんじ
ハイオクというところに特殊な燃料というニュアンスがあって面白い、という意見と、ハイオクでは中八になってしまうので、重油でいいのではという意見が。

新しい朝へ目覚めた掌を合わせ　きみ
生きている日々を切実に感じる。
ご高齢の作者の心からの思いに参加者一同納得。